



## 読んでから見るか、見てから読むか

校長 間邊 浩二

先日、久しぶりに映画館で映画を見てきました。大画面と迫力のある音響、そして目にも鮮やかな映像美に、「感動した」「おもしろかった」というような普通の感想ではなく、これまで経験したことのない出会いというか、感動のレベルを超えたような心を打たれた気分になりました。(少しオーバーかもしれませんがそれだけ素晴らしかったのです)

拝見した映画は今年6月に公開されてから観客が1千万人を超え、興行収入142億円を超えたという大ヒット作で話題の「国宝」です。

ご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、歌舞伎の世界に生きる人々の光と影を描いた3時間にもわたる大作です。



配役には俳優の吉沢 亮さんや横浜 流星さんなど、多くの俳優さんたちが演じていました。

主なストーリーは長崎で父を亡くし、関西歌舞伎の役者で最も実力がある俳優の花井半二郎に引き取られた青年、喜久雄(吉沢)が半二郎の息子の俊介(横浜)と競い合い、成長していく物語です。

この映画のヒットによって、最近では本物の歌舞伎を観覧になる人も増えており、日本の伝統芸能の一つである歌舞伎をより楽しみ、慈しむ風潮が広がってきたようなニュースも聞くようになりました。

実は私は本物の歌舞伎を拝見した経験はないのですが、様々なニュースや記事で話題に上がっていたので一度見てみたくなり、「国宝」を見るに至ったのです。

映画の中では、吉沢亮さんや横浜流星さんが、本物の歌舞伎役者と思えるほど見事な演技で、しかも女形をきれいに演じています。この映画を撮影するまでに1年半以上もの稽古をされて臨まれたという話も聞いていましたが、俳優という仕事をされている方々の役を演じる、役になりきるための努力には、圧倒された気持ちになりました。特に女形で踊りを演じるには帯を高いところで締めるため苦しく、衣装もかつらもとても重いのだそうです。それだけの努力の上でできた作品は、出演者の魅力も確かに大きいですが、映画のスクリーンから伝わる、伝統芸能の持つ様式や色彩、音といった要素が、私たち観客の心の奥にある「何か」を呼び起こしているのではないかと感じました。

このように大ヒットする映画は、それを支えるファンの力によっても支えられています。最近で言うなら「鬼滅の刃」や「名探偵コナン」などのアニメ映画などは、登場するキャラクターごとに応援する人がいてリピーターとなり、何度も映画館に足を運んで行く人がいます。それらは原作のマンガやアニメがあり、登場人物の人柄に魅力があったりします。そういえばかなり以前(1970年代)にこんな言葉が流行語になりました。

### 「読んでから見るか、見てから読むか」

これは当時「人間の証明」(森村誠一著)という小説が映画化された時に、原作本の出版社が書店で売る本の中に映画の割引券を入れておくキャンペーンをしたことがありました。当時これが大当たりしました。原作の本の売り上げが伸び、そして映画を見に来る人も増え大盛況。その後もこうした手法で原作本の売り上げとその作品を映画化して両方の売り上げが伸びるという流れができてきたのです。それは現在でも、「鬼滅の刃」や「名探偵コナン」などは原作本から映画化されヒットしています。またアニメ「スラムダンク」などは劇中の場面が有名になり、江ノ電の「鎌倉高校前」駅では聖地巡礼で訪れる大勢の観光客でたいへんな社会問題にまできています。(話がそれてしまいました)「読んでから見る」と原作がどのように映像化されるのかがわかるし、「見てから読む」とあの場面にはこんな意味があったのかなどがわかり、様々な楽しみ方があります。そこで私は今、原作本(国宝)を買って「見てから読む」を楽しんでいます。



## 2 学年 自然教室

自然教室担当 橘 小百合

5月19日(月)、山梨県の西湖いやしの里根場民宿村に1泊2日の自然教室に行ってきました。自然教室実行委員会を中心に準備を進め、2学年全員一丸となり、スローガンの「enjoy」のもと、素晴らしい自然教室となりました。

e … 笑顔で  
n … 仲良く  
j … 自分らしく  
o … 思い出つくろう  
y … 山梨!!



行事が大好きで  
明るい2学年に  
ぴったりの  
スローガンです！

### ◆ 1日目 ◆

いつもよりかなり早い集合時間でしたが、みんな元気に登校。ドキドキワクワクの表情でバスに乗り込みました。西湖野鳥の森公園で昼食を食べ、1日目のメインイベント『洞窟探検』へ。ガイドさんより自然の大切さを教えていただき、4か所の洞窟を探検しました。本格的な洞窟のため、中は真っ暗で這っていかないと進めない場所もあり、下見の際には「怖がって入れないのでは」と思いましたが、心配無用。洞窟からひょっこり顔を出した時の子どもたちの表情がキラキラしていました。夕食はカレーづくり。班の仲間と協力しておいしいカレーができあがりました。そしてお待ちかねのキャンプファイヤー。実行委員の企画やクラス対抗のダンスバトル。最後のジャンプリーミッキーは楽しすぎて何回もリピートしました。「人生で一番楽しかった！」の声もありました。宿では室長を中心に、自分たちで声をかけて就寝準備や1日のふりかえりをしました。盛りだくさんな1日目でした。



### ◆ 2日目 ◆

朝ご飯を食べてから、山梨名物「ほうとう」の仕込み。宿の方に教えていただきながら、丁寧に麺を打ちました。そして、酪農体験へ。酪農体験では、「いただきます」に込められている意味を教えてください、今回の自然教室の目標の一つである『命』について学びました。昼食は宿の方が仕上げてくださいましたほうとうを食べました。酪農体験や農家の方のお話から、食事のありがたさを直に感じる事ができたのではないのでしょうか。そして宿の方にお礼を伝えました。その時のみんなの表情は笑顔にあふれていましたが、どこか別れ惜しい寂しさもあったような気がします。最後の退村式では、「松中ソーラン」を感謝の気持ちを込めて精一杯踊りました。



今回の自然教室は、準備の段階から『自治』をテーマに取り組みました。時間をかけて自分たちでルールを決め、自分たちでつくりあげました。これからも自分たちの力を信じ、みんなでその力を合わせて大きく成長していきます。応援よろしく願いいたします。

6月27日(金)の「よこはま国際平和スピーチコンテスト」の神奈川県予選に、学校代表として出場してくれた3年Kさんのスピーチを紹介します。

「語り継ぐためには」

私のひいおばあちゃんは今、105歳です。

中学一年生の時、実際に戦争を体験した人はどう思ったのか気になって、ひいおばあちゃんに電話をしました。「とでもつらくて、苦しかった」とずっと言っていました。「幸せはいつどんなときに崩れるかわからないよ」と。そのことをたくさんの人に分かってほしいと。その言葉を聞いて私は涙が止まりませんでした。ひいおばあちゃんの声のトーンがいつもの笑顔のおばあちゃんからは想像ができないくらい暗くて、戦争は心に一生残る傷をつけると知りました。

今、ロシアとウクライナの戦争を見たり聞いたりして、平和はいつ崩れるかわからないという、ひいおばあちゃんの言葉を思い出します。

先日、長崎に二回目の平和学習に行きました。一回目は中一の時。長崎にいる、母の同級生の学校の先生から、平和とは何かを教わりました。原爆で皮膚が焼けただれた写真や、真っ黒になった服を見ました。

二回目の平和学習、修学旅行では、被爆者の方のお話を聞きました。

「戦争は殺した方が英雄」この言葉を聞いて私は意味が分からず、頭が痛くなるほどずっと考えていました。戦争の怖さは、敵国に殺されて死ぬことだと思っていました。でも違いました。

お話をしてくださった今道さんは、自分が被爆者であることを隠して結婚したそうです。被爆者の子供は障害を持って生まれると、そんなうわさがあったため、お子さんが生まれたとき、喜びと同時に不安もあったと話してくださいました。そして、そのように考えてしまった自分自身をいまでも恥じていると。

戦争は本当に怖い。空襲や原爆の怖さだけではない、戦争の怖さを知りました。


「忘れてしまったら過去は繰り返される。どんな小さなことでもいい。平和につながる行動をしてください。そうすれば大きな平和につながります。」という今道さんの言葉。

平和はいつ崩れるかわからない、という、ひいおばあちゃんの言葉。

私が学んだことを、たくさんの人に伝えたい。

価値観は人それぞれです。でも、平和に対する価値観、戦争がない方が幸せだということを、一人でも多くの人に伝わるように、いろいろな世代に途切れないように伝えたい。そのためにできることを、これからもずっと探し続けます。

【10月の行事予定】

日	曜	行事	日	曜	行事
1	水		17	金	
2	木		18	土	
3	金		19	日	
4	土		20	月	
5	日		21	火	
6	月		22	水	合唱コンクール
7	火	授業参観日	23	木	全市一斉児童生徒交流日
8	水		24	金	
9	木		25	土	
10	金	第5回PTA役員会	26	日	
11	土		27	月	3年進路面談①
12	日		28	火	
13	月		29	水	3年進路面談② 市総体閉会式
14	火	第2回公開授業週間(16日まで)	30	木	3年進路面談③
15	水		31	金	3年進路面談④
16	木				